



橋上市場東口

かまいし
市議会だより

第87号

平成14年1月15日

発行＝釜石市議会・編集＝釜石市議会だより編集委員会

〒026-8686 岩手県釜石市只越町3-9-13

TEL0193-22-2111 (内線453)・FAX0193-22-3710

釜石市議会ホームページ

<http://www.city.kamaiishi.iwate.jp/gikai/>

(ご意見をお寄せください)

R100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

十二月定例会の概要
 一般質問に十二名登壇
 議案審議
 新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業
 平成十二年度決算審査
 常任委員会研修報告
 海外視察研修報告
 新しい年に臨んで

12 11 10 9 8 7 6 2

財政難のなか公共施設建設めじろ押し

— [清風園] 民設民営でスタート —

平成12年度決算を認定

十二月定例会の概要

十二月定例会は、十一月二十八日から十二月十四日までの十七日間の日程で開かれました。平成十二年度決算が提示された中で、経済不況のあおりを受け、単年度税収約二億八千万円の収入減が明らかになりました。昨年の三月に公表された釜石市中期財政見通しでは、釜石市総合計画に基づく事業を実施していくためには、次年度以降、財政健全化努力として毎年一億円の経費削減が必要とされています。

このような状況下にあつて、学校統合、新しい特別養護老人ホームの建設は進めなければならぬことを確認しました。

平成十二年度一般会計並びに特別会計決算の審議は、一般会計では、税収二億八千万円の収入減、地方交付税の伸びも少なく歳入合計二百七億三千六百六十八万円、歳出二百三億五百三万円と四億三千六百六十五万円の黒字運営。特別会計九件においても、一億三千二百二十二万円の黒字運営。財政の健全化と市民の健康と生活の向上を目指した平成十二年度決算を認定しました。

平成十二年度決算を認定

一般会計と特別会計九件の収支決算を審査し、認定しました。

歳入歳出差し引き後の実質収支は、前年度より一億二千八百五十一万五千三百三十三円の減となっており、各特別会計の形式収支は、繰入金総計十二億五千四百五十八万四千七十一円の充当によりそれぞれ黒字という形になっています。

このような財政環境の中で平成十二年度予算の各事業は適正に執行されました。一方、今年度以降も財政好転の兆しは見出しにくい状況の中で、歳入の二十三％を占める市税の確保が重要な度合いを

深めています。

今後の大型の公共施設の建設などもあり、一層の効率的財政運営が求められるなど各分野で活発な議論が展開されました。

公共施設等の建設

学校統合計画では、八雲小と中妻小の校舎建設は、平成十三年

度～十五年度。釜石第一・釜石第二・小佐野中学校の校舎建設は平成十四年度～十六年度。釜石小・大渡小の校舎建設は平成十五年

度～十七年度となっています。今議会では歳入が一億以上の減額

の中で公共施設の建設を危ぶむ議論がなされました。平成十三年

から十七年度までの間で校舎建設

費は、総事業費六十億七千五百万円、国庫補助十五億九千万円、地方債三十九億二千万八百円、一般財源五億五千六百万円が必要と見込んで計画しています。また、

新しい特別養護老人ホームの建設は、十四・十五年度の二カ年、財政負担は、およそ二億七千七百万円が見込まれます。

鳥谷坂トンネル付近を予定していた新し尿処理施設の建設は、光

ファイバーケーブルの移設費用、建設用地造成費の見直しにより、

甲子町十地割、松倉に平成十七年度着工し、十九年度から供用を開始する方向で進めることになりました。

した。

「清風園」民設民営へ

今定例会から釜石大槌地区行政事務組合の取り組み状況の報告を事務組合議長から行うこととなりました。

懸案事項の一つであった特別養護老人ホーム清風園の改築については、民設民営に移行する計画であることが報告されました。その理由については、昭和四十八年の開設から二十八年を経過し、老朽化が進むとともに介護保険制度における施設基準に適合していないこと、また、短期入所、生活支援ハウス及びデイサービスセンター等を整備し、介護サービス基盤施設の充実を図るためとしています。さらに、市の財政負担、機能的性、効率性、利便性を検討した結果、現在の事務組合による改築ではなく、民設民営が最善であると判断したことが説明されました。

新たな施設の事業主体は、医療法人楽山会が中心となる社会福祉法人で、場所は小佐野地区です。施設規模は鉄筋コンクリート造二階建、延べ床面積六千三百平方メートルで、長期入所定員九十床、短期入所十床、デイサービス二十人、生活支援ハウス十人及び地域交流センターを設置する計画です。建設年度は平成十四・十五年度の二カ年事業となっています。

一般質問（抜粋）

医療とまちづくり

海盛会
赤崎光男

議員 医療を高度特殊にすることにより外から（患者）を呼び込むようなまちなにできないか。

部長 釜石地域保健医療協議会においては、一般病床における既存病床数が必要病床数を三百五十二床上回っている一方で、療養型病床群が少ない状況から高齢化に対応した医療供給体制の整備に向け、国立療養所釜石病院への療養型病床の設置を国に要望するなど地域内の調整を図ることにしてお



療養型病床の設置を望む国立療養所釜石病院

り、第五次釜石市総合計画においても地域医療体制の充実が重要な課題であるので、高度医療サービスを含めた医療機能の強化を図るためにも関係機関と連携して医師の確保に努めていきたい。

議員 今後のまちづくりを進めるにあたり、議会・行政・商工会議所の三者が一体とならなければと考えるが。

市長 機会あるごとに、ご提言をいただくとともに意見交換を行い、密接な連携の下でまちづくりに向けた各種施策の推進を図っていききたい。

議員 ベンチャー企業に対する考え方は。

部長 広域的な交流連携や研究

機関等と企業とのマッチングなどの事業展開を図っていきたい。

大槌町との合併についての考え方は

21世紀の会
両川敏之

議員 国・県として広域行政奨

励の方向であり、時代の波とも感じる。大船渡市と三陸町の素早い合併の例もあり、当市としても三陸の拠点都市を目指すのであれば合併した場合のメリットとデメリットなど国からの特例措置を含めて具体的に検討すべきと思うが。

市長 どちらかと言うと大槌町の方に時期尚早との意見が多いように感じている。規模の大きい市町村のほうから政治の力で無理に押しつけるのはどうかと思う。

議員 橋上市場の移転期限が迫っているが、組合員が二つのグループに分かれたことに対しては行政としても指導力の無さが問われるものと考えがどのようになっているのか。また今後の支援策は。

助役 このような状況を踏まえ、市としては市場移転及び大渡橋架替工事を遅滞なく進めるべく、今後さらに県及び組合との連携を図りながら早期解決のための支援策を年内をめどに取りまとめ



みんなに愛されてきた橋上市場

たい。

議員 産業廃棄物の適正処理はどのようになされているのか。エコタウン事業を目指す当市にとって重要だが。

部長 おおむね適正に処理されていると認識しているが今後不法投棄などの防止をパトロール等の強化で図る。

行政改革は間断なく

スピーディーに

公明党
山崎長栄

議員 行政改革大綱の推進期間は五年だ。財政事情だけでなく、社会情勢の変遷は予測以上である。これまでの感覚と意識を変え、推進期間の短縮、業務・施設の民間委託などワークシェアリングの積極的な導入、あるいはISO9000シリーズの取得に間断なく取り組むべきと考えますが市長の所見は。



行政改革で五葉寮は民間委託に

市長 大綱では、五年間で組織機構の見直し、財政運営の健全化、定員管理の適正化などを図ることとしている。改革は年次計画に沿って進めるが、市税の減少・地方交付税の伸び悩みにより、歳入が減少する一方、総合計画に基づく大型建設事業による歳出の増加が見込まれ、市の財政状況はかつてない厳しさに置かれることは確実だ。更なる改革に努めるが、特にも財政の健全化は推進期間を短縮し、迅速に対策を講ずる必要がある。効率と成果を重視する行政運営と職員の資質向上は表裏一体だ。今後も人材育成と期間の短縮を視野に入れ行政改革に取り組み。民間委託については、委員会で検討を進めているが、早期に委託が可能なのは委託の方法を、それ以外にも可否について検討を進めている。ISOの取得は、専任職員の対応が可能か判断したい。

市民のための 行政運営を

民政クラブ
松坂喜史

議員 今後の財政運営は非常に厳しいと思われる。平成十四年度予算の考え方と財源の確保は。

市長 財政の健全化確保のため徹底した行財政改革と事務事業の抜本的見直し、重点的・効率的な運営に努める。平成十四年度予算は、百九十億円前後と思われる。

議員 道路運送法改正により、バス事業者が不採算路線から撤退し、日常生活の足が失われることが予想されるが、市としての対応はどのようになるのか。

部長 新たに休廃止路線が発生した場合、維持運行には多額の財政負担を要すると思われるので、



医療の充実に取り組む市民病院

スクールバス、患者輸送バスの一元化を図り、行政バスの活用を考えている。

議員 市民病院の現在の状況と今後の見通しは。

院長 小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科等において常勤医師不在が続いており、経営的にも苦しい状況となっている。今後は病院のあり方について関係機関と議論を深めて参りたい。

議員 小川川下流河川敷の夏場の雑草処理が大変なので、河川敷を整備すべきでは。

部長 甲子川河川敷整備終了後、小川川河川敷整備予定である。

中心市街地の活性化

市民クラブ
菅原規夫

議員 東部地区商店街の中心市街地の活性化について行政としてどのように進めようとしているのか。

市長 東部地域においては、商業の核である大型店の動向も留意しなければならぬところであり、かつ平成十八年度には港湾、道路等の整備が図られ、より広域的な商業活動を視野に入れた対応が迫られることから、現在、TMOや地域商店街を中心として商店街形成を含めた協議検討を進めて



魅力ある商店街形成を

いるところだ。

市としてもこれら協議検討に積極的に参加し、行政と民間との連携と役割分担を明確にしながら、民間事業者が魅力ある商店街形成のため商業核施設を必要とするのであれば、事業見直し等を勘案しながら支援できる分野については対応を図って参りたい。

議員 完全学校五日制によって生じる余暇の利用と学校教育をどう連携させようと考えているのか。

教育長 子どもたちには、土曜日、日曜日を利用して、家庭や地域社会で生活体験や自然体験、社会体験等有意義な活動を行ってほしいと考える。

一方、学校は、子どもたちの体験を生かすような授業の展開等工夫してほしい。

広域行政について

清和クラブ
川崎勇一

議員 合併に向けての取り組み姿勢は、地域振興に向ける情熱と同種のものだ。必ずや低迷する地域経済の打開に結びつくものと確信する。行政として、住民が合併問題について議論できる環境をつくるべきでは。

市長 釜石地方振興局、釜石市及び大槌町の行政関係者で組織する釜石・大槌広域行政連絡会議を通じ、地域の住民に対してどのような情報を提供していくべきか話し合っていく。

議員 三陸沿岸の各市町村は、共通課題が多い。広域連携で環境行政を推進すべきと考える。「三陸沿岸環境サミット」を開催し、日本一の環境ゾーンを目指すべきでは。

部長 陸中海岸国立公園協会において、環境をテーマにした開催を要望していく。

議員 環境行政の推進によって、日本一きれいな海で養殖された水産物は、三陸ブランドとしての位置づけ、名声を高め増養殖業の基盤確立に結びつくものと考えらるが。

部長 きれいな海で採れた自然いっばいの水産物として、漁業経営基盤の確立に向け、漁業者と一体となって取り組んでいく。



恵まれた自然を生かし漁業の振興を

公共施設は 地域バランスが大切だ

21世紀の会
小笠原 多子男

議員 市総合計画及び高齢者保健福祉計画と新特養老人ホームとの整合性、民設民営にした経過は。

市長 新特養老人ホームを鶴住居地区に設置する計画であったが、種々検討の結果、民設民営とし、事業者は、釜石大槌地区に限定して公募した。応募のあった事業者の企画書を比較検討を進めてきた。事業者及び設置地域の諸条件、市の財政負担の軽減など総合的判断から、設置運営主体は新社会福祉法人（楽山会）とし、場所

は小佐野地区と決定した。

議員 小泉内閣の行政改革により、特養老人ホームへの補助はどうなるのか。

部長 新型特養施設は全室個室、ユニットケアとなる。国庫補助は、一人当たりの基準面積及び1㎡当たりの基準単価はなくなり、定員一人当たりの基準単価となる。利用者には、ホテルコストにかかる費用として、新たに四、五万円が負担増となる。

議員 五葉寮の運営を委託する計画があるようだが、その経過及び具体的な内容は。

部長 行政経費の削減等から、管理運営を委託の意向だ。受託者は「JAとおの」とし4月からだ。

子育て環境の整備を

民政クラブ
秋元 厚子

議員 当市の中期財政見通しの実現には、行政改革が不可欠である。補助金・負担金の整理合理化、施設管理の民間委託を掲げているが、新年度の対応はいかに。

市長 第五次釜石市総合計画に基づく事業を実施していくためには、次年度以降、財政健全化努力として、毎年一億円の経費削減が見込まれる。補助金・負担金の合理化は、新年度予算編成方針で、長期間にわたって継続的に支出している補助金等については、厳しい見直しを行う。負担金についても新規加入は原則として行わない。施設管理等の民間委託については、平成十四年度から養護老人ホーム五葉寮を社会福祉法人に、市民文化会館の舞台操作、照明等についても委託の方法を検討している。

議員 子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの設置が必要である。取り組みは。

部長 地域子育て支援センターは、現在移転改築工事中の「鶴住居保育園」に位置づけたい。ファミリーサポートセンターについては、県単独事業の「地域子育て相



建築工事が進む鶴住居保育園

学校統合計画の 推進は可能か

市民クラブ
武田 直美

互支援事業」を検討し、また、子育て支援グループと連携をとりながら、実現に努めたい。

議員 財政環境は一層悪化し、厳しさを増す中で、第五次釜石市総合計画を推進する上で、支障を来すのでは。中期財政見通しの見直しは。

市長 市税の動向や交付税の見直しなどを踏まえて、新年度予算に合わせて作成し、公表する。

議員 少人数学級に対する教育委員会の考え方は。
教育長 増員している学校の成果課題をまとめ、より多くの学校

でできるよう県教委にお願いする。

議員 財政が厳しい中で、学校統合計画の推進は可能か。

教育長 学校統合には国庫負担金・地方債・一般財源など必要。財政状況が厳しいことは承知しているが、調整を図り、財政事情の許す範囲で、計画どおり進めたい。

議員 介護保険の保険料が満額徴収となり徴収業務の難しさが懸念される。増員を考えると。

部長 介護保険制度の仕組みを充分周知するためにも強化が必要だ。人事担当と協議する。

議員 低所得者対策が必要では。
部長 保険料の軽減については、個々の実情に応じて対応する。訪問介護や訪問入浴など三％に軽減する独自の対策もある。新型特養については対策を要望する。



ありがとう中妻小学校



新しい特別養護老人ホーム建設予定地

なにごとにも

そしやくが必要では

21世紀の会

野田 忠孝

議員 合併には、市の総合分析が必要だ。企画、立案、そしやくが重要だ。そのための検討体制は。

市長 合併は自主的に行われるもので、無理に押しつけるのは賛成できない。よって合併協議会を設置していない。

議員 合併のメリット、デメリットは。

市長 合併協議会をつくらなければ特定できない。

議員 大槌町だけでなく大船渡市との合併の考えは。また、合併後の財政の見通しはどうなるか。

市長 大槌町との合併は考える



新し尿処理場建設予定地

が、大船渡市との合併は考えない。
部長 財政の見通しは、十分検討していないので申し上げられないが、合併による財政上のメリット発揮には、人口十万人規模が必要だと考える。

議員 新特養ホームには誰でも入居できるように。また、現清風の職員は、そのまま移動するよう取り組むべきだ。

部長 関係機関と連絡のうえ努力する。

議員 新し尿処理場建設の場所は適切だと考えるか。

部長 選定は適切だ。松倉町内会と要望十六項目事業を具体的に実施する条件で合意している。

三陸縦貫自動車道
釜石山田道路と
風力発電事業
民政クラブ
菊池 正明

議員 三陸道釜石山田道路の進捗状況、水海地区についての説明会の内容、路線の実現の見通しは。

市長 国は、両石・鶴住居間四・四キロを優先的に着手する。

本年度に用地測量、両石町の用地を一部買収する。来年度も用地買収を進め、部分開通を目指して整備を進める方針だ。

議員 風力発電事業が遠野、大槌を含めて進められているが、釜石への波及効果が薄くなるのでは。



三陸縦貫自動車道の早期実現を
(高規格幹線道路対策課提供)

部長 支援策を協議したい。

環境問題
エコタウン事業について
無党派
齋藤 正子

無党派

齋藤 正子

議員 年末の中小企業への融資対策は。

市長 中小企業振興資金融資制度の償還期間の延長と、今年度の融資枠は昨年度より一億円上積みし三十億円の融資枠で対応している。

議員 国の緊急地域雇用特別交付金事業の①経済波及効果②今後の事業内容③市独自の事業展開は。

部長 ①雇用の創出が図られ、



新施設への移行で大部屋解消 (清風園)

経済の波及効果もあった。②具体的にはこれからだ。③釜石市雇用推進会議を設置、年内をめどに事業の取りまとめを行う。

議員 エコタウン事業の廃棄物処理は、ガス化溶融炉方式によるもの。技術が確立していないといわれるが選んだ理由は。

助役 ダイオキシシンなど環境汚染物質への対策が叫ばれる近年、安全性の観点から高い注目を浴びている。同施設の建設実績は順調に推移していると伺っている。

議員 新特養ホーム入所者の利用料金、低所得者対策は。

部長 国、県に適切な対策と入所者への対応に万全を期したい。

議員 清風園に勤務する職員の処遇は。

部長 行政事務組合が主体的に行うことになるが市と大槌町とも連携をとり、適切に対応する。

□平成13年度補正予算□

〔補正額〕 一般会計 2億6922万6千円 特別会計(8会計) 6億652万7千円
〔補正後の予算額〕 195億5950万円 139億1195万1千円

主な補正内容は住吉踏切警報機等設置負担金、鶴住居地区生活道路整備事業や八雲小学校・中妻小学校の閉校関係経費などです。

条例改正では、釜石市立養護老人ホーム設置条例の一部を改正する条例が原案のとおり可決され釜石市が設置運営している養護老人ホーム「五葉寮」の運営について民間委託が可能となりました。

議案審議

『主な質疑とその要旨』

福祉施設の民間委託

問 地方行革、行政改革という名のもとに民間委託が進められている。福祉施設の民間委託の進め方は。

答 地方、国の財政は苦しい。民間エネルギーの發揮こそ行政を進めるのに有効な手段と考える。だからといって働いている人の待遇を低下させることはない。

森林交付税

問 人間生活の中で森林機能の果たす役割を正しく評価し、その保全のため国の財政措置を講じさせるべきである。

答 森林交付税創設促進連盟に加入し、活動すべく検討している。

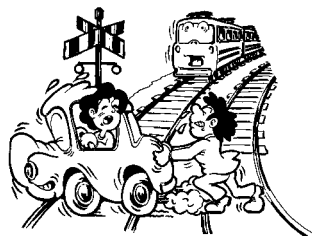
住吉踏切

問 三陸縦貫道との関係及び地域とのかわり。

答 将来二つの踏切を一つに統合する。利用率は高い。

問 踏み切り設置基準があるのか。取り付け道路との段差の対策は。

答 設置基準(JR基準)は特に定めていない。JR及び地域と協議して今後検討していく。



橋上市場付近の朝市は

問 橋上市場付近の朝市の今後は。

答 日通跡地等に移転する方々と推移を見て、相談に応じ、調整を図っている。

特産品の生産拡大

問 「すみれ」の会の海鮮漬が「食の匠」に認証されたがこれを釜石の特産品に位置づけ、生産拡大を図る考えはないか。

答 当市ではチョロギに次ぐ二団体目の認証である。ホテルの要望もあって地元で農産加工としては評判もよい。釜石農産加工組合の調整ができれば加工場の設置も考えたい。

観光イベント

問 キッズインタウン事業と地域イベントの連携は。

答 五月五日開催の陣屋まつりとキッズインタウン事業との連携は、実行委員会として前向きに考えていきたい。

問 冬季観光イベントについての取り組みは。

答 当市は、夏型の観光が中心であるが、冬季も食材などの資源はたくさんあるので、魚彩王国やかまくら祭りとの連携など積極的に取り組んでいきたい。

物産センター

問 物産センターテナント料金滞納の状況は。

答 平成十二年には千百万円ほどだったが、平成十三年現在は、大口テナント業者滞納六百万円ほどを含んでも千四百万円ほどと改善され、今後も努力する。

問 物産センター運営方法の見直しの考えは。

答 五年間の法的制約は終了した。今後大口テナントの解決を見通しながら運営の見直しを進める。

緊急雇用特別対策事業

問 都市公園管理台帳図作成委託料の事業内容と雇用人数は。

答 公園台帳が大幅に変わっているので調査測量する。雇用

は三十五人、一時的だが雇用の機会が作られる。

問 これまでの雇用者の年齢の特徴は。

答 国の事業で十四件実施した。年齢は中高年が多かった。

学校統合

問 統合小学校の校名は改めて提案したいとのことだが、どのような方法で検討し決定されるのか伺いたい。

答 これまでの新しい校名の選考経過は、「学校づくり協議会」からの提言を受けて、教育委員会が決定したものだ。したがって、議案の取り下げについて協議会に報告し、今後の対応策について意見を聞きながら検討したい。

病院事業会計

問 過去に支払済みの医療費を再請求された経過があったようだが。

答 事実、過去にはあったが、現在ではない。その時点では患者さん宅に行つて謝罪、理解を得た。今後ないよう努力する。



特集 新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業

施設事業費総額20億円（補助金として、国5億円、県・市からそれぞれ2億5千万円）の4カ年計画で予算措置され、事業が推進されているものと考えられていたところ、事業着手が遅れていることが問題となり、議事日程を変更し、12月10日午後1時から市長に説明を求め、質疑が行われました。

小野市長からは、事業の遅れている原因として、放送局舎の移転とそれに係る変更手続きの遅れ、自己資金の調達について、市と事業者間で認識の違いがあったことが報告されました。

また、市民の皆様、エリア拡大予定地域の皆様に対し、事業が遅れていることに陳謝の言葉がありました。

議会に対する説明は

問 記者会見前に議会報告がなかったが、議員全員に説明すべきではなかったか。

答 記者会見前に議会報告がなかったが、議員全員に説明すべきではなかったか。会派代表者協議会で説明している。

国・県への影響は

問 事業者との打ち合わせ等、行政の対応はどのように、また国・県への影響は。

答 事業者は事業の経験もあり、定められた手続きは熟知していると考えていた。今後一部の事業を国・県と相談して、今年度中に着手したい。

監査は

問 財政援助団体である三陸プロードネットに対する監査は実施したのか。

答 監査はしていない。今後年次計画で実施したい。

事業の今後の見通しは

問 事業（四カ年計画）の経過中であるが、今後の見通しとして事業は可能なのか。

答 可能性は充分にあるので、調整しながら進めていく。

市の管理体制は

問 何度もこの事業に対し懸念を促した。「議会で承認されれば、一週間ほどで融資のめどはついている」としたが、また管理監督は厳しくチェックするとしていたが。

答 銀行からの融資より大株主からの資金提供が有利と考えた。管理監督の責任については、担当課を通じてチェックしている。

事業推進意欲は

問 大株主の今後の事業推進意欲は。

答 「意欲はある」と認識している。ただ、資金使途に認識の違いがある。

事業者による説明は

問 三陸プロードネットを議会に呼んで説明させるべき。

答 会社が全員協議会への出席を申し出た場合、行政として会社に要請する。

市長の責任は

問 市長・助役の答弁に対する責任は。

答 一連の答弁に対する責任は感じている。

放送局舎移転との関連は

問 放送局舎の移転がなければスムーズに進んだのか。

答 当初の段階で局舎に係る手続でとらえていたが、それが解決を見てから自己資金の確認について、認識が我々と違っていることが明らかになってきた。したがって、局舎の問題がなくとも、このような事態が訪れた可能性が高いと考える。

市と事業者の認識の差は

問 なぜ、自己資金に対する認識の差ができたのか。

答 市と事業者の間で当初の段階で細かいすり合わせは、十分していなかった。

次年度以降の展開は

問 本年度に一部の事業が実施された場合、翌年度の事業につなげていけるのか。

答 実施する場合には、国・県と調整して、継続していくよう働きかけたい。

情報化計画への影響

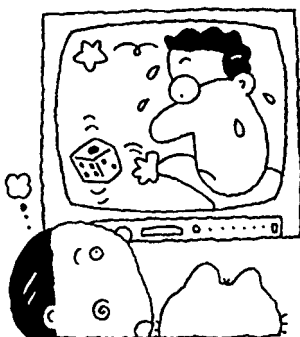
問 情報化計画の策定に影響はないのか。

答 情報化計画を策定中だが、ありとあらゆる分野に影響がある。計画では、六つのメインシステムと十一のサブシステム、例えば、学校間のテレビ会議システムはどうしても高速回線を使いたい。

第三セクター化は

問 多くの議員が当局の説明不足で「第三セクターになった」との認識が見られない。第三セクターになったとする議事録なりをコピーで提出せよ。

答 議事録を提示する。



□平成12年度決算審査□ ～財源はどう使われたか～

一般会計 歳入 207億3668万7753円、特別会計(9会計) 歳入 132億 822万2071円
" 歳出 203億 503万3328円、 " (") 歳出 130億7700万2834円

議員全員で構成する決算特別委員会(東隆人委員長・小笠原多子男副委員長)を開催し、平成12年度一般会計、特別会計(9会計)を併せて審査し、反対討論1名(無党派)、賛成討論3名(民政クラブ、市民クラブ、海盛会)による討論の後、賛成多数により認定しました。

市税の減少要因は

問 市税の二億八千万円の減少要因をどのように分析しているのか。

答 市民税の納税義務者数の減少もあるが、漁業の低迷、商工業の不振等の要因が重なっている。

郵便局での公金払込

問 税、使用料などの口座振替が郵便局でも可能となったが、納付書での払い込みができれば、不便だ。改善すべきでは。

答 今後は市内各郵便局の窓口には払い込み用紙を置き、市民の利便性を図りたい。水道料金についても、関係者と協議する。

防災訓練

問 防災訓練への参加者が少なくなっているが。

答 来年三月の訓練には、自主防災組織の参加など、中身を濃いものにした。

保育料の減免制度の見直し

問 第三子保育料無料制度は、実態に合わせて見直しを。

答 保育所に入所する児童が年齢的に三人目が少ないのが現状である。しばらく検討させてほしい。

高齢者の健康づくり

問 高齢者の健康づくりに積極的に取り組まなければならないと思うが。

答 各町内会の集会所等で、体力づくり教室、健康教室を開催し、生きがいのある健康なまちづくりに努めている。

市民病院

問 病院事業企業会計に十五億九千万円の貸付金が計上されている。ここ数年どのように変化しているか。

答 貸付金は、数年横ばい状態が続いている。

問 市民病院の経営を圧迫している大きな要因の一つに高金利時代借りた建設資金約三十一億円がある。二十五年間の償還で元利合計約八十一億円はあと何年で償還が完了するのか。

答 あと、九年かかる。

し尿処理

問 し尿くみ取り料金及び収集料金の値上げの検討をした経過があるのか。

答 平成九年に消費税相当額のアップ以来検討していない。

問 新し尿処理場建設に係る地元町内会との確認書で、し尿収集車の外観・臭気の改良に多額の経費が見込まれるが、支援策は。

答 内容を十分に精査し、検討の上対応していく。

釜石斎場

問 釜石斎場で大槌町の火葬を受け入れることは可能か。

答 大槌町から要請があれば、充分に対応できる。

唐丹診療所

問 唐丹診療所再開への取り組みは。

答 地元出身者の方が二、三年後に帰ってくるという話だ。行政として支援したい。

釜石まるごと宅配

問 年間を通じた釜石まるごと宅配事業を展開するシステムが必要では。

答 旬の宅配便を各小売業者にPRし、定着させたい。そして釜石市自体を観光面でもPRしていきたい。

図書館の充実

問 図書館への図書検索システムの導入を図るべきではないか。

答 図書のバーコード化が必要だ。その上でコンピュータを導入し、パソコンでの検索を可能にしたい。

学校間交流

問 学校の小規模化が進んでいるが、子供の成長のためにも他校との連携・合同授業も必要では。

答 異なる地域環境を知ることには子供にとって必要であり、前向きに取り入れていきたい。

日韓ワールドカップサッカー

問 ワールドカップ開催地視察、日韓文化交流などを含めた考え方はないか。

答 当市のサッカーレベルは、県内でもトップにあり、岩手選抜にも三名が選ばれている。ワールドカップを機会に文化交流なども考えていきたい。

学校と地域

問 学校と地域のかかわりについて。

答 学校だけの教育はできないので、地域の応援を得ながら、体験学習などを行っている。

総務常任委員会

去る、十一月十三日から十六日にかけて、七名の委員により三重県亀山市（研修テーマ「総合保健福祉センター」）、三重県伊勢市（同「生涯学習センター」）、東京都昭島市（同「事務改善・庁舎建設」）の研修視察を行った。

亀山市総合保健福祉センターは三カ年の継続事業で平成十三年四月オープン。施設の機能は、ふれあい交流、在宅支援・児童育成を柱に運営。特徴は一億二千万円（ふるさと創生基金）を投じた天然温泉で、施設機能を高めている。伊勢市生涯学習センターは、二

カ年事業で平成九年オープン。講師は市民の特技を生かすため登録制にするなど、生涯学習の拠点として多様な各種講座の開設や、市民の学習活動を支援している。

昭島市の事務改善は、平成十二年度から役所言葉の一扫に取り組んでいる。

平成九年完成の庁舎は市民の声が設計段階から反映され全館バリアフリーである。



民生常任委員会

民生常任委員会は昨年十一月十三日から四日間、福岡県柳川市と倉敷市を研修視察した。柳川市の総合保健福祉センター「水の郷」は、同地にあった老人福祉センターの老朽

化もあって、市総合計画に盛り込まれた総合福祉センターとして建設。「暮らしの豊かさ」「心の



豊かさ」が実感できるあたたかい施設として建設。専属トレーナーのいる「すこやかルーム」「温泉「ホール」などを備え、ハードビジュアル法の認定施設。平成十三年六月開館。

倉敷市の「倉敷健康プラザ」は市内の真中で約一万坪の用地に建設。総工費約百億円。倉敷市福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化に努め、関係団体の意見を取り入れ、保健福祉の拠点施設とし、同一敷地内にある保健所との連携に配慮した。

障害者の利用できる体育館、プールなどを完備。平成十三年四月一日開館。

- 子男孝夫子雄幸
- 厚光忠一正幸正
- 元崎田藤藤館木
- 秋赤野佐齋平鈴

- 二男史人男一夫
- 勤多喜隆勝福和
- 間原坂 葉松沢
- 岩小松東千平小

先進地視察

～常任委員会
研修報告～

- 美昭夫栄一明
- 直義規長修正
- 田木原崎井池
- 武佐菅山藤菊

- 之一實雄吾雄
- 敏勇茂英金兼
- 川崎原寺野林
- 両川藤小佐島

経済常任委員会

経済常任委員会は、昨年十月十六日から十九日にかけて、北海道函館市（研修テーマ「水産業振興と観光振興の取り組み」）、苫小牧市（同「港湾整備計画と物流」）、室蘭市（同「まちづくりの基本方針」）の研修視察を行った。

各市の特徴的な取り組みや課題を上げると、函館市では、投石や漁礁設置による漁場形成、黒ソイ等の稚魚育成と放流そして漁協合併の取り組み。恵まれた観光資源を最大限に活用しての観光客誘致の積極的展開。苫小牧市では道内の港湾貨物取り扱いの三分の一を

誇っているが、堀込港のため港の幅が狭いことや湾口までの距離が長いという課題を抱えている。室蘭市では、まちの将来像を「海と科学技術のサークル都市室蘭」の実現と掲げ取り組んでいること等があげられる。今回の研修視察

テーマは、

当市においても大きな課題であり、研修の成果を今後のまちづくりに生かしていく決意である。



建設常任委員会

去る十一月六日から当委員会五名の委員により市庁舎建設と道の駅の施設を勉強するべく愛知県岩倉市及び富山県氷見市を視察して

きた。岩倉市においては人口四万六千人とは



ゆる面で市民の意思を第一として設計され豪華ではないが機能的で環境にも配慮され、かつ低予算で完成されており、当市の庁舎建設計画に大変参考となるものであった。氷見市においては当市同様水産業を基幹産業としたまちであるが観光客が気軽に魚を食べる・買う・休憩等ができるなどの大型商業施設がなく通過型のまちであった。地元業者と競合することなく観光客を呼ぶ施設の必要性から民間主導型の海の駅的施設を計画、昨年四月にフィッシュアーマンズワーフ海鮮館をオープン、現役漁師も鮮魚直売に参加するなど予想以上の成功を収めている。

海外視察研修報告

菅原規夫

平成十三年度東北市議会議長会主催の海外行政産業視察が十月十一日から二十二日までの十二日間の日程で行われました。

海外行政産業視察には、東北から二十三名三十三名の議員が参加し、イギリス、フランス、スイス、ドイツの四カ国を歴訪し、研修して参りました。

四カ国の自治体の取り組み、公共施設等の研修を通してヨーロッパの風土、歴史と伝統等の認識を深めることができました。

イギリスでは、ロンドン東部にあるセルキャップ廃棄物処理施設（自治体からの処理委託料・廃棄物焼却発電を売電運営）、フランスの高齢者住宅協会（アレパ）では高齢者の入居の要件、特養施設



ドイツ・ローテンブルクにて



フランス・パリ日本人学校にて

の状況等を視察しました。

スイス・ジュネーブ市のプロテクトシヨンシビル（市民防衛）センターは核兵器に対する避難所として設けられたもので、主に兵役に行かない人を中心に七千人で構成されていました。

ダルムシュタット市の中心市街地活性化の取り組みについては、ドイツ在住の建築家春日井道彦氏から説明を受けました。郊外進出計画の大型店を中心街に誘導し、道路交通網を整備、地上を歩行者専用とし、同時に、地下駐車場を道路と並行して都心に作るなど、「商業と文化」のまちづくりを学ぶことができました。この貴重な体験を今後生かして参りたいと考えております。

市政調査会

市政調査会では十一月二十一日に総会を開催、第二部会に付託していた「行財政改革について」と、第三部会に付託していた「橋上市場移転問題について」の報告がありました。総会では全会一致で報告の内容を市当局に提言することになりました。これを受けて、十一月二十二日、小沢議長、鈴木副議長、千葉市政調査会長、同秋元副会長から小野市長に対し、今後の市政に反映していただくよう「釜石市議会市政調査会報告書」を提出しました。

なお、「橋上市場移転問題」に

ついては、併せて釜石地方振興局長に対し、平成十四年の早期の移転に向けて事業の推進に配慮するよう要望いたしました。

【第二部会】

九月六日に部会を開催し、付託された行財政改革について、市民本位の施策を推進するために必要不可欠であり、より効率的な行財政運営を実現すべく、積極的な取り組みを求めるとを内容とする報告書をまとめました。

【第三部会】

十月二十五日に部会を開催し、付託された橋上移転問題について、平成十四年三月末移転を実現すべく、県・市に対してできる限りの支援体制を確立し、事業の

推進に向けた積極的な取り組みを求めることを内容とする報告書をまとめました。



議会のひらき

- | | | | |
|-----|----------------------|--------------------|----------------|
| 10月 | 2日 民生常任委員会 | 19日 委員会研修視察（16日） | 11日 経済常任委員会 |
| | 16日 経済常任委員会研修視察（19日） | 21日 議会運営委員会 | 12日 総務常任委員会 |
| | 25日 市政調査会第二部会 | 22日 会派代表者協議会 | 13日 会派代表者協議会 |
| | 29日 市政調査会幹事会 | 27日 議員全員協議会 | 14日 会派代表者協議会 |
| 11月 | 1日 岩手県市議会議員研修会（盛岡市） | 28日 議会運営委員会、 | 17日 経済常任委員会 |
| | 6日 会派代表者協議会 | 12月 月定例会開会（12月14日） | 19日 議会だより編集委員会 |
| | 建設常任委員会研修視察（9日） | 議会だより編集委員会 | 20日 議会だより編集委員会 |
| | 12日 会派代表者協議会 | 12月 | 26日 議会だより編集委員 |
| | 13日 総務常任委員会・民生常任 | 3日 会派代表者協議会 | 27日 議員全員協議会 |
| | | 4日 市政調査会幹事会 | 1月 |
| | | 7日 建設常任委員会 | 7日 会派代表者協議会 |
| | | 10日 議会運営委員会 | 9日 議会だより編集委員会 |

頌春 — 新しい年に臨んで —



議長 小沢和夫

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃、市民各位には市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年を迎えましても、雇用不安、少子高齢化に伴う不安、地域経済に対する不安など、当市経済情勢は厳しさが感じられます。

市議会といたしましても、市政調査会を設置し、色々な市政課題を検討し、昨年は橋上市場移転問題や行政改革について積極的に行うよう市長に提言いたしました。

スクラムかまいし21プランも二年目を迎え、地方分権が推進する中、自己決定・自己責任の下で、創意工夫を行い、個性ある魅力あふれる地域社会を築くために、市民のニーズを的確に把握し、政策形成する議会づくりに努めます。

市民各位のご健勝とご多幸、ご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

公職選挙法により「印刷年賀状」を出すことができませんので、本紙によりご挨拶を申し上げます。
市議会議員一同

民政クラブ

幹事長 秋元厚子
副幹事長 菊池正明

松坂喜史
東隆人
佐野金吾
鈴木正幸

市民クラブ

幹事長 小野寺英雄

菅原規夫
武田直美
佐藤一夫
千葉勝男

21世紀の会

幹事長 佐々木義昭

副幹事長 小笠原多子男
野田忠孝
両川敏之
平舘幸雄

清和クラブ

幹事長 川崎勇一

藤井修一
平松福一

公明党

幹事長 山崎長栄

島林兼雄

会派に所属していない議員

斎藤正子

海盛会

幹事長 藤原茂實

副幹事長 赤崎光男
小沢和夫

意見書

釜石市議会は、十二月定例会において、議員発議による意見書四件を可決し、小泉内閣総理大臣や塩川財務大臣など関係省庁並びに国会に對し送付しました。

■BSE（牛海綿脳症）対策の強化に関する意見書

■女性の年金制度の改善促進を求める意見書

■地方交付税の財政調整機能の確保に関する意見書

■高速道路網の整備に関する意見書

請願

■採択となったもの

◆し尿収集運搬料金の改定についての請願



十二月議会も終了し、師走も後半。あわただしく年の瀬を迎えるこの時期に、決まって日常会話に「一年の出来事、総決算」の話題が上がる。今年の場合、大きいところ「アメリカ同時多発テロ」、「小泉構造改革」、「狂牛病」。当市に限って言えば、さしずめ「ケーブルテレビ」、「橋上市場」、「学校統合」といったところか……。

今定例会では今後めじろ押しとなる公共施設建設に伴い、硬直化する財政が指摘された。重苦しい雰囲気越年するのは心残りである。

来年はせめてこれらの（学校名を含めて）公共施設建設事業に民意を反映されたものとなることを願いたい。来年の干支は「壬午」である。市民がこの議会だよりを目を通す頃、当市にとつて躍動する希望の光がかすかにでも射してくれることを祈りたい。そう言えば「四年で釜石を変える」はどこに……。

（佐々木記）

委員長 菅原規夫
副委員長 佐々木義昭
委員 赤崎光男
藤井修一
東隆人
島林兼雄